

脳卒中の医療体制の整備のための研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2019年7月10日～ 2020年3月31日

〔研究課題〕

脳卒中の医療体制の整備のための研究

J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke center in Japan)

〔研究目的, 意義〕

超高齢化社会の本邦において、後遺障害による寝たきりの原因となる脳卒中の救急治療は大きな課題となっています。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の集約化、広域化と連携強化が重要となりますが、地域特性に応じた整備の為には、全国的な規模での地域毎の実態を調査することが必要です。

本研究では本邦の脳卒中施設の施設情報と、診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、その適正な配置について提言を行うことが目的です。

〔対象・研究方法〕

全国の脳卒中を診療している施設において、脳卒中に関連する疾患で治療した患者さんを対象としています。この中には九州大学病院も含まれています。患者さんの情報は、DPCデータ、レセプトデータを提供していただきます。DPCやレセプトとは、日本における医療費の支払いに使用される評価方法であり、本研究は個人のカルテや画像データを利用するものではありません。期間は2015年4月1日から2020年3月31日までで、全国で年間約50万のデータが集まることが予想されます。九州大学病院では年間約3千のデータ(うち帝京大学では400程度)登録を目標としています。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

〔研究機関名〕

九州大学大学院医学研究院脳神経外科

研究責任者:九州大学大学院医学研究院脳神経外科・教授・飯原 弘二

帝京大学医学部救急医学講座(○本学における実施責任者 ◎本学における情報管理責任者)

- ◎ 大貫 隆広(助手) 帝京大学医学部救急医学講座
- 坂本 哲也(主任教授) 帝京大学医学部救急医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

対象者の情報をこの研究に使用する際、レセプトデータの場合は、氏名、被保険者番号 等個人を特定できる情報は匿名化した上で、研究事務局へ提出されます。また、DPC データの場合は、DPC 調査のデータ上で個人を特定するための識別番号(カルテ番号等とは別の調査用の番号です)が用いることとし、個人の氏名や被保険者番号、カルテ番号など、対象者と個人を結びつけられる情報は研究事務局へ提出されるデータには含まれておりません。レセプトの匿名化前の情報や DPC データの識別番号と対象者の個人情報を紐づけられるのは、対象者が受診した医療機関においてのみであり、研究者側では個人を特定しません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合 にも、対象者が特定できるような情報を使用することはありません。

この研究によって協力施設から収集した情報は、九州大学大学院医学研究院脳神経外科・教授・飯原 弘二の責任の下、厳重な管理を行います。

〔その他〕 (健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

特にありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 坂本 哲也(主任教授) 帝京大学医学部救急医学講座

研究分担者: 大貫 隆広(助手) 帝京大学医学部救急医学講座

住所: TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 33129]